

『おおきな木(通級指導教室)』だより

豊中市立高川小学校 令和7年(2025年)4月21日



『おおきな木(通級指導教室)』のご案内

豊中市では、2023年度からすべての小・中学校・義務教育学校に、通級指導教室が設置され、高川小学校にも設置されました。小学校・義務教育学校前期では「おおきな木」、中学校・義務教育学校後期では「ひろがり」という名前がついています。

小学校の「おおきな木」の由来は、絵本『おおきな おおきな木』(よこたきよし・作、いもとようこ・絵)からで、「おおきな木」に守られて、課題のある子どもたちが安心して学べる部屋にしようということで、「おおきな木」と名づけられました。

どのような子どもたちが対象か・・・

- ・落ち着きがなく、気が散りやすい。
- ・文字を書くことが苦手。
- ・文章をすらすら読めない。
- ・文章の読み取りが苦手。
- ・予定を立てることや、物の管理が苦手。
- ・感情のコントロールが苦手。
- ・コミュニケーションをとるのが苦手。
- ・声にだして発表することや人前で話すことが不安。
- ・発音が気になる。
- ・ことばがつかまって、なめらかに話せない。

このような“困り感”をもっている子どもたちが対象です。

どんなことをするのか・・・

このような“困り感”をもつ子どもたちは、注意したり叱ったり、何度も繰り返し学習したりするだけでは、問題が解決しにくい場合が多いです。

『おおきな木』では、「読む・書く・聞く」などに特化した学習や、SST(ソーシャルスキルトレーニング)など、通常の学習指導とは違った角度から“困っている子どもたち”を支援します。45分の中で、児童の特性や実態に合わせた4～6つの課題に取り組みます。

指導内容は、本人の“困り感”“苦手感”によってさまざまですが、昨年度実施した内容は、以下の通りです。

- ・感覚統合トレーニング(ふだん自覚せずに使う感覚をバランスよく使えるように)
- ・認知機能強化トレーニング
(写す、数える、想像する、記憶する力といった認知機能を鍛える)
- ・認知作業トレーニング(身体的不器用さに対応)
- ・ビジョントレーニング
- ・アンダーコントロールトレーニング
- ・ソーシャルスキルトレーニング
- ・音韻認識、処理のトレーニング
- ・話す、聞く、読む、書くに特化した指導
- ・計算指導、具体物を使った指導、量感覚の育成
- ・先取り学習 など

指導時間や入退室について・・・

- ・入室が決まったら、本人、保護者の方(高学年の場合は、本人だけでも可)からどんなことに困っているかを伺い、「おおきな木」で何をするのか、相談して決めます。
- ・クラスの時間割をもとに、「おおきな木」に通う曜日・時間を担任とも相談して決めます。決められた時間(授業時間中・放課後・休み時間)に通級教室に通います。基本は週1回45分ですが、状況に応じて指導時間を決めます。
- ・個別指導かグループ指導で行うかは、おおきな木の時間割や本人の課題を考慮しつつ、相談して決めます。
- ・年度途中で「入室」、「退室」ができます。指導の必要なくなった時点で終了ですが、一方的に決めることはありません。終了や継続については、担任と本人、保護者の方と相談しながら進めていきます。

どのように申し込めばいいのか・・・

お子様のことで、気になることや心配されていること、通級指導を考えたい等ありましたら、各学級担任や通級指導担当者にご相談ください。

いつでも申し込みできますので、本人と保護者の方で、一緒に考えてください。

通級指導教室の場所は・・・

新館2階(図書館の横)の部屋です。ドアの小窓から、おおきな木の絵が見える部屋です。

(豊中市立高川小学校 通級指導教室担当)